



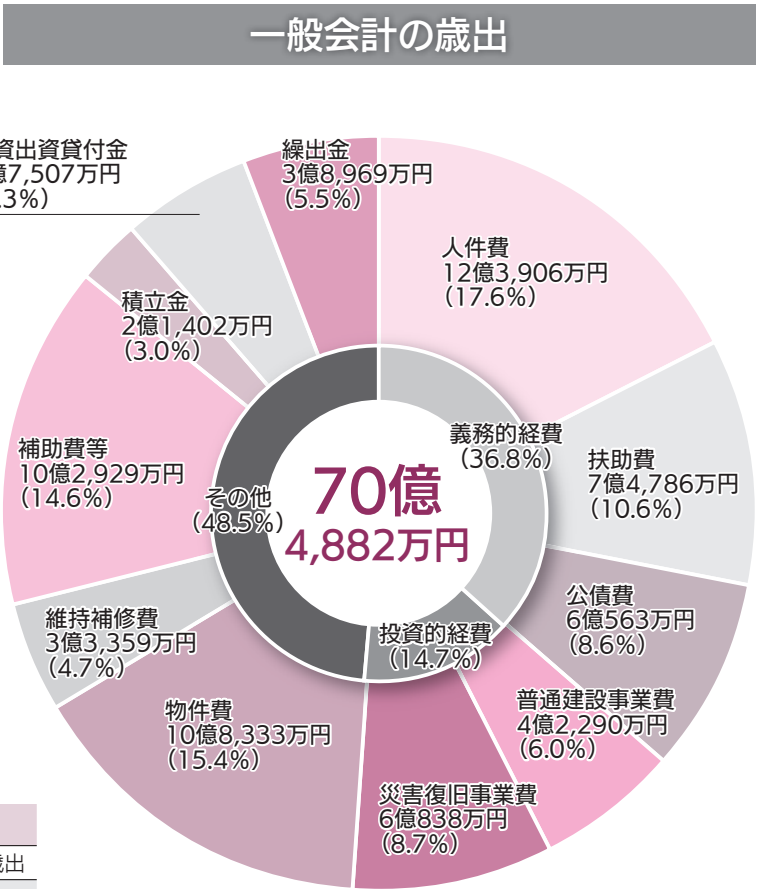
消防署指令台において、119番通報者の発信地位置情報などを取り扱う情報システムを中心に更新を行いました。



平成28年度以来となる、盆城庵の茅葺屋根の葺替えを実施。

特 別 会 計 決 算		
会計	歳入	歳出
国民健康保険	9億9,184万円	9億6,373万円
後期高齢者医療	1億7,034万円	1億6,933万円
介護保険		
保険事業勘定	19億4,005万円	18億7,900万円
介護サービス事業勘定	495万円	495万円
障害認定事業	426万円	324万円
水道事業会計決算		
区分	収入	支出
収益的収支	1億9,675万円	2億3,514万円
資本的収支	1億2,775万円	2億 375万円
下水道事業会計決算		
区分	収入	支出
収益的収支	2億8,478万円	2億7,826万円
資本的収支	1億3,601万円	2億1,418万円

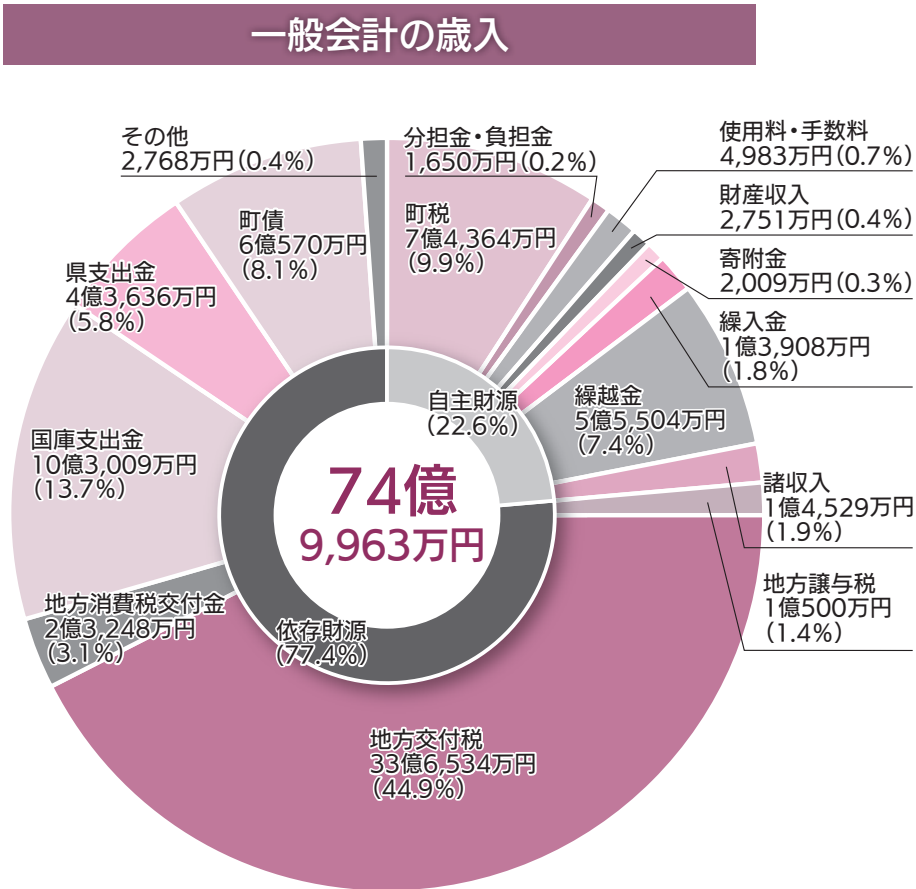
予算の主な使いみち（令和7年度）	
▶災害復旧事業	6億838万円 大雨により被災した農地・農業用施設や林道施設、公共土木施設の復旧を行いました。
▶物価高騰対策事業	1億5,854万円 物価高騰に伴う負担軽減のため、子育て世帯への給付金、各福祉施設やこども園、小中学校への助成、商品券や灯油購入券の発行などを実施しました。
▶消防指令システム更新事業	9,867万円 消防署の指令台における情報系システムの更新と出動車両運用管理装置を導入し、体制強化を図りました。



健全化判断比率	決算比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	7.9%	25.0%
将来負担比率	46.8%	350.0%

- 実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率 一般会計等の標準的な収入に対する負債返済の割合
- 将来負担比率 一般会計等の標準的な収入に対する将来負担すべき全債務の割合

- ▶道路整備事業 9,684万円
橋梁長寿命化に向けた寺庭橋の補修や五城目外環状線・樋口下樋口線・蓬内台公民館線の舗装および側溝改良工事などを実施しました。
- ▶各施設照明更新（LED化等）事業 3,230万円
盆城庵や農家レストラン「清流の森」、大川地区公民館体育館や雀館運動公園街路灯、町地域活性化支援センターの照明をLED化しました。
- ▶町民センターロータリー舗装工事 1,145万円
町民センターのロータリーの舗装補修を行いました。
- ▶盆城庵茅葺屋根葺替工事 460万円
古民家を復元して建てられた宿泊施設である、盆城庵の茅葺屋根の葺替えを行いました。



一般会計の実質収支額は2億8,042万円の黒字

令和7年度一般会計の決算が、町議会9月定例会で認定されました。

令和7年度一般会計では、歳入額が74億9,963万円、歳出額が70億4,882万円で、翌年度へ繰り越すべき財源1億7,039万円を差し引いた実質収支額は2億8,042万円の黒字となりました。

財政の健全化を示す指標の実質公債費比率は7・9割、将来負担比率は46・8割で、それぞれ基準とされている25・0割、350・0割を下回っており、当町の財政は「健全」と判断されています。

町民税や固定資産税などの自主財源は、16億9,698万円で歳入の22・6割です。また地方交付税や補助金などの依存財源は、58億2,655万円で、歳入の77・4割を占めています。

災害復旧事業に6億838万円

地方交付税や補助金などの依存財源は77・4割

各特別会計は黒字決算

このほか、4つの特別会計も黒字会計となりました。

水道事業会計では、給水人口の減少、経年劣化した設備の更新費用の増加などにより、当年度純損失の額は4,851万円となりました。

また、下水道事業会計では、当年度純利益643万円の黒字決算となっております。

両事業ともに、本年度から料金の引き上げを実施したところでありますが、引き続き適正な収入の確保を図りつつ、安定的で持続可能な事業運営に努めます。

令和7年度 一般会計決算報告

物価高騰に対する支援や 災害復旧事業などに 70億4,882万円